

【叙勲】

## 祝 叙勲 令和5年 秋の叙勲受章

瑞宝双光章受章 謹んでお祝い申し上げます。

若松佳司氏(45回生 長崎・佐賀支部)元長崎県上五島病院診療放射線技師長

川瀬滋人氏(58回生 京都支部)元京都大学医学部附属病院放射線部副診療放射線技師長

### 令和5年秋の叙勲の栄を賜り



元 上五島病院放射線技師長 若松佳司(45回生)

令和5年秋の叙勲に際し、長崎県診療放射線技師会の推薦をいただき、瑞宝双光章の栄を賜ることができました。大変光栄に思います。

私は昭和45年3月に京都放射線技術専門学校を卒業、同年12月に大阪府高槻市のみどりヶ丘病院開設に立ち会い、同院に就職。昭和53年4月より私の地元である長崎県の五島列島にある長崎県離島医療圏組合 上五島病院(現:長崎県病院企業団長崎県上五島病院)に就職。定年後も上五島病院、奈良尾医療センター、有川医療センターにお世話になりました。

私の受章は「50年以上診療放射線技師として従事し、地域医療に貢献した」とのようです。上五島病院では、エコー、CT、MRI、マンモ等、次々と装置の導入を行い、画像診断の向上に努めてまいりましたが、地域医療に貢献という意味では、早くから地域での腹部エコー検診に携わったことが第一に挙げられると考えます。この業務は、地域の集会所に赴き検診を行うと同時に、放射線技師がエコー装置を持ち込み、腹部エコー検診を行うというものです。長崎県五島列島の中通島とその周辺の島々が対象でした。市町村合併前のことです。昭和61年の江ノ島・平島、小値賀町を皮切りに、62年に上五島町、宇久町、小離島、平成3年には新魚目町、若松町も加わり、平成8年～12年頃まで実施いたしました。この地域医療への貢献は、従事した技師達のエコー診断能の向上にも寄与したと考えています。

長崎県診療放射線技師会からの推薦は、京都医療科学大学学友会会員でもある前長崎県診療放射線技師会会長の氏原健吾氏よりなされたとのことでした。氏原氏には感謝申し上げます。

最後になりますが、京都医療科学大学学友会の皆様の益々のご健勝を祈念いたします。

### 令和5年秋の叙勲にて瑞宝双光章の栄に浴して



京都大学医学部附属病院 放射線部 川瀬滋人(58回生)

学友会の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。令和5年秋の叙勲に際しましてはからずも瑞宝双光章の栄に浴しましたところ身に余りすぎる光栄と感謝しております。長年にわたり皆様方からいただいたご指導ご鞭撻の賜と御礼申し上げます。特に58回生同級生諸君の診療・研究にあたる姿勢から多くの影響を受け切磋琢磨したことが受章の大きな要因になったと思っております。

京都大学から推薦されたこの秋の受章者は瑞宝中綬章5名、瑞宝双光章4名、瑞宝単光章2名の方々と発表がありました。去る11月13日ホテル椿山荘東京にて盛山文部

科学大臣より勲記・勲章の伝達を受けてきました。文科省からは勲章 760 名、褒章 26 名が受章したとのことでした。引き続き勲章を身に付けて受章者と配偶者等が 21 台のバスに分乗し皇居へ参内いたしました。宮殿内で最も広い豊明殿において天皇陛下に拝謁の栄を賜りました。天皇陛下の正面 2 列目に着席となり両隣の受章者の方々と日頃の行いの良さのおかげと年甲斐もなく喜びを分かち合いました。帰りバスの車内で天皇陛下からのお土産との菊焼残月を頂戴し、東京駅前で降車したのは日も落ちた夜でした。モーニングコートに勲章姿の 1 日でしたが疲労感はありませんという人生はじめての経験でした。

今後ともこの栄誉に恥じることはないよう一層精進し些かなりともご芳情に報いたいと存じますので何卒従前のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

最後になりますが昭和 56 年 4 月京都放射線技術専門学校入学時より診療放射線技師としての礎を築いてくださいました山田勝彦先生、西谷源展先生、故藤本信久先生に感謝申し上げます。

以上

---

\* 通巻 250 号 2024 年 1 月 10 日発行(2024-No.1)より